

## 学会認定鑑定医制度 指定研修施設プログラム model 常勤用

- ・申請日 201X年Y月 Z日
- ・機関名 A病院
- ・施設長 院長 B
- ・研修責任者氏名：C 常勤
- ・鑑定指導医
  - C 学会認定鑑定医制度試験委員 常勤
  - D 学会認定鑑定医 常勤
- ・研修プログラムの内容

プログラムでは、精神医学および司法精神医学の基本を学んだうえで、鑑定助手として鑑定に参加し、鑑定事例検討会に参加することで、精神鑑定の実際を経験する。A病院は、医療観察法指定入院医療機関であり、司法精神医療の実際も研修できる。

研修では、精神医学や司法精神医学のクルズスを受講し、責任能力判断は法的な判断であることなど基本知識を習得し、過去に行われた実際の鑑定書を精読し、指導医と討論しながら、知識を深化する。起訴前嘱託鑑定や公判鑑定の鑑定留置時には、鑑定補助者として、鑑定の中立性や倫理、関係者以外への秘密保持など鑑定に必要な基本姿勢を研修し、対話の重要性を含めて鑑定の実際を経験する。具体的には一件記録と面接から、事件に至る道筋を整理し、現在証を把握して記載し、必要な検査を実施し、精神障害の有無を鑑別を含めて適切に診断し、対話を重ねながら、精神障害が犯行にどのように影響したかをまとめてゆく能力を養う。

医療観察法入院病棟では、各種会議に参加し、基礎知識を得たうえで、指導医の指導のもと主治医として関与し、司法精神医療の実際について、共通評価項目を綿密に検討し、対象者のニーズを把握して治療計画をたて、自らの注意サインを述べて自己対処することが、動機誘導の点でも同様の行為を繰り返さないようにする視点からも重要であることなどを研修する。

学会認定鑑定医制度 指定研修施設 研修プログラムスケジュール

① 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30-9:00		退院事例紹介	入院事例紹介		
9:00-12:00	鑑定助手(不定期)または医療観察法病棟業務	鑑定助手(不定期)または医療観察法病棟業務	医局会・院長回診	医療観察法病棟業務	鑑定助手(不定期)または医療観察法病棟業務
13:00-16:00	医療観察法治療評価会議	鑑定助手(不定期)または鑑定書ライブラリー精読と討論	医療観察法事例検討	鑑定書ライブラリー精読と討論	精神医学テレビ会議クルズス鑑定書ライブラリー精読と討論
16:00-18:00	司法精神医学講義		鑑定会議(不定期)	隔離拘束院長回診	多職種勉強会

② 年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	外部講師精神医学講演会(不定期)
6月	CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修 日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会参加
7~8月	
9月	公開A病院司法精神医学セミナー
10月	外部講師精神医学講演会(不定期)
11月	認定鑑定医制度ワークショップ参加
12月	外部講師精神医学講演会(不定期)
1月	
2月	外部精神医学講師講演会(不定期)
3月	A病院公開フォーラム(公開研究発表)
その他	テレビ会議クルズス(週1回) 退院事例紹介(週1回)入院事例紹介(週1回) 刑事鑑定会議(随時)

